



進取

令和2年 6月30日発行

阿久根市立阿久根小学校
25学級 児童数451名

夏の勝者に～コロナにも暑さにも負けない～

校長 秦 明夫

6月は水無月みなづきと呼ばれます。雨が降るのに水が無い月とは?・・・以前不思議に思い調べてみたことがあります。由来には諸説あるそうですが、水無月の「無」は「の」という意味があり「水の月」であるとする説が有力のようです。田植えが終わって田んぼに水を張る必要のある月「水張(みずはりづき)」「水月(みなづき)」であるとする説もあるそうです。逆に、文字通り旧暦の6月は梅雨明けで、暑さで水が無いことから水無月となったとも言われています。いずれにしても自然と密着して生活していた古来日本人の思いを偲ぶことができます。

さて、6月の土曜授業で、地域の方の協力をいただき5年生も田植えを行いました。稲の生長と同じように、子供たちもすくすく成長してほしいと思います。

いよいよ7月、文月に入ります。暑さで子どもたちはバテないだろうか少々心配です。しかし、子供たちには強い味方ができました。クーラーです。先週はかなり蒸し暑く、クーラーを使う学級が多かったようです。担任の先生達にその効果を尋ねると「クーラーがあると子供たちの集中力が違います。」とうれしそうに答えてくれます。「学校にクーラーとは贅沢だ。」今やそのようなことを思う方は少ないのではないかと思います。ここ数年の夏の暑さは本当に厳しいものがあります。せっかく設置してもらったクーラーです。熱中症等を防ぐとともに、学習効果を上げるため有効活用していきたいと思います。

さて、昨日文書でお知らせしました通り、今年は、臨時休業等の影響で夏休みを短縮します。子どもたちの気持ちもいろいろだと思います。「せっかくの夏休みが短くなってしまう」とがっかりする子、「夏休みは長過ぎるから丁度いい」と平常心の子など・・・。

午前中4時間の授業を行い、これまでの臨時休校で復習が不足したところや2学期にまわした実技教科等の内容などに取り組んでいきたいと考えています。残り1月ほど、子供たちといっしょになって学習面・生活面を充実させていきたいと思えます。コロナだけでなく暑さにも勝ちたいと思えます。夏の勝者となれるようがんばります。



新学習指導要領のスタート

学習指導要領という言葉は報道等でこれまで耳にされていると思います。この学習指導要領とは、子供たちにどんな資質や能力を育むか、どんな学習内容を学ばせるかなどを定めたものです。

およそ10年ぐらいで見直されています。本年度がその新しい教育内容のスタートの年です。基本の部分は変わりませんが、急速な社会の変化に対応するため新しい内容等が盛り込まれています。例えば

- ・5・6年生に教科としての英語
 - ・プログラミング教育
- などが挙げられます。

また、通知表についても見直しをしているところです。詳しくは学級PTA等でご説明していきたいと思えます。

教育相談の実施について

本年度も保護者の皆様と担任との教育相談「一緒に語り合ひましょう」を実施いたします。コロナの関係で家庭訪問が実施できませんでしたので、今回は、保護者の皆様と担任がじっくりお話できる貴重な機会だと考えています。

7月20日以降を予定しておりますが、学級によって状況が違いますので、後ほど担任からお知らせ文書を配布します。どうぞよろしくお願ひいたします。

